

令和 2 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R2.6.22	
担当	課名	にぎわい創出課
	グループ名	地域振興グループ
	記入者名	

1 事業概要										
(1)事業名	仙元山周辺花のまちづくり事業費 (平成30年度 仙元山桜の山事業費)			(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業			
(4)第5次総振での位置づけ				(5)予算・財源等の別						
①基本目標	産業の振興			①会計区分	一般会計					
②大項目	観光			②財源区分	町単独					
③中項目				③予算科目	款	7	項	1	目	3
④施策				④予算事業名	仙元山周辺花のまちづくり事業費					
⑤施策コード	6.4.0.0	掲載ページ	142	ページ						
(6)実施根拠				(7)総合戦略						
①事務分類(自治・受託) 自治事務				①総合戦略 (該当事業名) 無						
②根拠法令										
③事業期間 開始 不明 年 月から				終了 未定 年 月まで						

2 事業の目的・対象及び内容							
(1)目的(何のために行うか)				(3)手段(内容・どのような取り組みか)			
花卉を活用した誘客				<ul style="list-style-type: none"> ・見晴らしの丘公園隣接地に桜や山モミジを植樹する。 ・地元ボランティアの協力のもと、埼玉伝統工芸会館隣接農地に花卉を植栽し、開花時期に合わせてイベントを開催する。 			
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)				(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客(国内外) ・町民 				来訪者を増加させることが農業や商工業の発展に繋がるとともに町への移住のきっかけにもなることから、町の活性化が期待できる。			
対象数	入込観光客数	単位	人				
(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など							
点在している観光資源を結ぶ魅力ある観光ルートの整備							

3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)						
(1)事業(内容)名称		仙元山周辺花のまちづくり事業費(平成30年度 仙元山桜の山事業費)				
項目	決算・予算年度	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度決算	2年度予算
(2)事業費内訳	委託料	0	0	661	826	830
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	直接事業費合計	0	0	661	826	830
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	100	0
	一般財源	0	0	661	726	830
	合計	0	0	661	826	830
(4)補助金名		まちづくり寄附金				
(5)人件費						
	投入職員数	0	0	0.2	0.2	0.2
	年間人件費	0	0	1,593	1,543	1,535
(6)総事業費		0	0	2,254	2,369	2,365
サービス量(人)				699,998	762,529	776,000
サービス単価 (単位)				3.2	3.1	3.0
円/入込観光客1人あたり						

4 指標の検証(活動指標・成果指標)				観光事業推進費		
指標名		単位	30年度決算	元年度決算	2年度予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	観光案内所来訪者数 (観光情報館運営事業補助)	目標値	人	12,000	12,000	9,000
		実績値	人	9,282	11,590	
		達成率	%	77.4	96.6	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	入込観光客数(総振目標指標p144) R2年度目標値 780千人/年	目標値	千人	772	776	780
		実績値	千人	700	763	
		達成率	%	90.7	98.3	
(3)その他指標に現れない成果						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	2	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()	
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()	
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
誘客数を大きく増やすためには、植樹範囲を大規模に広げる必要があると同時に、樹木伐採費用の捻出や来訪者用駐車場の確保が必要となる。						
6 事業の方向性の判断						
		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)		(3)最終評価 (町長)		
評価	2					
説明	事業の評価・改善を行いながら、事業継続。					